



# 全国農業協同組合連合会 耕種資材部施設園芸企画課・ゆめファーム全農こうち

(東京都千代田区・高知県安芸市)



大規模施設園芸における労働力確保のため、福祉事業所と連携。  
周年栽培と作業のマニュアル化で誰でも働ける環境を構築し、  
安定労働と就業機会を拡大。

## 人を耕す

- 作業委託料(単価)は福祉事業所と協議し決定。作業技術の向上に伴い、作業委託料(1袋当たりで単価を設定)も上昇する仕組みを導入。
- 作業のマニュアル化(書類・映像)等により適性を勘案した委託や作業中の適切な管理が可能に。
- 単発の軽作業からほ場内作業や袋詰め、出荷と、ステップアップできる作業を設けることで、障害者の能力が向上。

## 地域を耕す

- 「ゆめファーム全農構想」を掲げ、雇用型農業とし、作業を分解・マニュアル化することで障害者に限らず多くの人が簡易に作業従事することが可能な大規模多収型施設園芸を推進。
- ゆめファーム全農こうちは全国的に視察を受け入れて、取組の紹介を行うことで、農福連携への理解を醸成。

## 未来を耕す

- 簡便な作業で樹勢を維持しながら効率的かつ安定的な収穫が可能となる「ナスのつるおろし栽培法」を確立(特許第7623709号)したことで福祉事業所への作業委託でも好影響。
- 環境調和型農業に資する技術・資材を体系化した「グリーンメニュー」にも取り組み、ノウフクJASを取得した商品に限らず、環境等に配慮した商品を展開。

## 成果

- 福祉事業所への報酬支払額は、12万円(R3)から377万円(R6)へ増加。
- 農地面積は、1ha(R3~R6)を維持。
- 農業売上高は、5,100万円(R3)から6,500万円(R6)へ増加。
- 常時発生する集荷や袋詰め、JAへの出荷といった作業をすべて福祉事業所へ委託することで、ほ場運営も効率化し生産に注力できることから、収益性や生産性も向上。
- 各種センサーや環境制御機器を導入するスマート農業化を推進し、農福連携に限らず働きやすい環境を創出。

## 基本情報

- 設立/S47年 ● 農福連携取組開始/R3年 ● 取得認証等/ノウフクJAS
- 主力商品/(農作物)野菜 ● 特徴的な取組/スマート農業、環境調和型農業

ホームページ▶

